

みほそ

平成二十九年二月一七日
発行者 校長・園長 與古田思信



授業参観日・校内実践報告会

一月三十一日は、授業参観および校内実践報告会を行いました。平日にも関わらず、多くの保護者にご参加くださりありがとうございました。

校内実践報告会では、昨年と同じように子どもも一緒に聞いてもらいました。報告会では、全国学習・学力調査の結果や沖縄県Webテスト、うるま市実力テストの結果を示しました。本校は、全国や県、うるま市と比べて同等あるいは高くなっています。昨年と比べて大きく伸びています。日頃の授業や学校での個別指導等とともに、家庭学習での子ども達の頑張りで大きく改善したと思われる。学力は、子どもの進路や職業を決定する大きな要因の一つです。わかる授業をめざした授業改善の取り組みを今後も進め、子ども一人一人が「わかった!!」「なるほど」と感じる授業作りを推進していきたいと思っています。ご家庭でも、お子さんの宿題の点検や忘れ物がないかの確認などを行ってほしいと思います。今後とも、保護者と連携し子ども達の確かな学力の向上に努めていきたいと考えています。報告書では、発育状況、肥満度、歯科検診結果、ふわふわ言葉を意識した実践の取り組み本校の一事徹底等の生徒指導、図書貸し出し統計も示しました。学校評価については、昨年と比較した調査結果、保護者からいただいた貴重な意見やその対応策なども報告しました。

本校児童は、体力的には全国より劣っている部分があります。本校では、8時までに徒歩登校して、朝の持久走やラジオ体操を自主的に行う児童が多くなりました。今後とも本校教育に対し、ご理解とご協力をお願いします。

幼稚園生活発表会

幼稚園児の生活発表会(わくわくどきどき発表会)が、二月十日に行われました。多くの保護者、学校評議員、評価委員の方々にご来場いただきありがとうございました。

幼稚園では、発表会に向けてどの子ども主体的に参加できるよう配慮しました。子ども達が演技を決めたり、その中で演技したい種目を自ら決めたりして練習しました。また、司会や演技の準備、片付けも子ども達で行いました。子どもの成長を実感できる発表会でした。



スマホ(携帯)の使い方

一六日に行われた臨時の講話朝会で、スマホの使い方を話しました。スマホは、便利な機能が数多くあり、私たちの生活に役立っています。しかし、使い方を間違えると多くの危険も潜んでいます。先日、中部の中学生が撮った暴力の動画がネット上に配信され、大きな社会問題となりました。本校の児童の中にもスマホ持っていたり、保護者等のスマホが使える環境にあたりする児童が多くなります。朝会では、ビデオを見せながら危険性を子ども達に紹介しました。子ども達に正しい使い方を行ってほしいと思います。スマホの危険性として次のことがあげられます。各家庭でも、話題にしてほしいと思います。また、スマホにフィルタリングをかけ、安心して使える環境を作ってください。

○ネット依存(夜遅くまでスマホをしていませんか)

スマホでは、多くのゲーム等を楽しむことができます。ゲーム等の時間を決め、生活にメリハリを付けてほしいと思います。

○出会いに注意(ネット上の相手はどんな人?)

SNSは、大と人のコミュニケーションをネット上で可能にしてくれます。とても気軽に使えるので、情報発信や情報交換の場として多くの人が利用しています。そこには「いい人」ばかりではありません。ネット上に個人情報(名前、住所、写真等)を送ることは、大変危険です。

○いじめは最低(ネット上に相手の悪口を書かない)

○おもしろ半分(投稿は絶対しない)。
○多額の請求がある場合も・・・

分らないアプリは使わない!
ダウンロードは保護者と一緒に行う。

※無料ゲームでも、アイテムは有料という場合もあるそうです。



将来の仕事

▼技術革新により、子ども達の65%は今存在していない職業に就くとの予測があります。▼一般の人々がインターネットに出会ってからまだ二十数年です。コンピュータだけでなく、スマホやゲーム機、テレビなどの家電製品もインターネットにつながる時代になりました。カードでの支払い、コンビニでの公共料金の支払いも当たり前になりました。さらに、「チューバー」等の新しい仕事もできました。▼小学生が大人になる十数年先は、どのような仕事が生まれているでしょうか。▼これからは、知識ばかりではなく、外国人を含む人たちとコラボレーションして新しい考えや商品を作り出すことが重要視されると思います。▼保護者や地域と協力し、今はない仕事でも活躍できる子ども達を育てていきたいと思っています。(與古田)